

祝 大隅曾於地区消防組合 大崎分署 開署式



大隅曾於地区消防組合 『大崎分署』開署式



本町井俣にある大隅曾於地区消防組合大崎分駐所は、消防組合総合整備計画に基づき、新たに「水槽付き消防ポンプ自動車」が導入、施設も増築され、2月1日より『大崎分署』として稼働しています。同月3日(金)には同署の開署式が挙行されました。

大隅曾於地区消防組合管理者である五位塚剛曾於市長は、「救急に特化した分駐所の機能だけではなく、火災事案への対応ができないかと地域住民から要望が寄せられました。1年かけて検証し、このたび運用の運びとなりました。今後も住民ニーズに応え、安心安全の町づくりを進めてまいります。」と話しました。

導入された消防車両には、水・薬剤・圧縮した空気で泡状の放水が行えるCAFS装置が備えられており、通常の放水に比べ、8倍の放水時間を可能にしたと説明がありました。